

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

2024年1月25日(木)

活動隊員：佐藤美佳、金谷雅代

1. 活動日時

2024年1月25日(木) 0:00~24:00

2. 活動場所

珠洲市立大谷小中学校(珠洲市大谷町1字78番地)

避難所使用者数 49人 自宅避難 2人

3. 被害状況(石川県:1月25日 14時現在)

人的被害:石川県死者 236人(うち珠洲市 99人)

住家被害:建物全壊、半壊、一部損壊あわせて 4474棟

4. 天候 雪 最高気温 3℃ 最低気温 0℃

(避難所内 温度:21.1℃ 湿度:48%)

5. 活動の実際

0:00 ラウンド、トイレ確認

4:20 ラウンド、トイレ確認

5:30 起床者に順次 Hot タオル配布、トイレ確認

8:00 朝食、要配慮者への配膳確認

9:00 珠洲市保健医療福祉調整本部ミーティング(Zoom)参加

- ・珠洲市立総合病院の各科診療は2月1日から再開する
- ・入院の受け入れを増やす予定だがスタッフの疲労がある
- ・その他珠洲市で活動する各団体から活動人数や活動場所の説明
- ・本日夕方のミーティングは代表のみ、明日の朝は8時から実施

9:50 ストレッチ

10:00 要支援者状態確認、受診予定者の状態確認

10:20 処方希望者対応

10:30 日本赤十字奉仕団訪問

バスタオルの提供を受ける

12:00 環境整備

12:30 昼食、要配慮者への配膳確認

13:15 体育館利用者に作業依頼

14:00 ピースウィンズ・ジャパン医療チームの訪問診療

下肢蜂窩織炎の創洗浄1人、診察と処方3人

今後の定期巡回診療について相談

含嗽薬をいただき、体育館利用者に使用勧奨の案内

- 16:30 アセスメント入力
- 17:00 要支援者状態確認
- 17:50 夕食、要配慮者への配膳
- 19:00 避難所スタッフミーティング
- ・PWJの医療チームから下着、靴下、文具など物資も配達された
  - ・処方内容が分かる情報の提供により、珠洲市立総合病院で処方を受け、大谷地区在住の病院職員の方に運んでもらえるという流れが作れた(3件)
  - ・1.5次避難で1世帯2人が1/27に退所予定
  - ・2次避難予定の25人のうち、3世帯4人が1.5次避難に変更する
  - ・2次避難は1/29以降だが連絡はない
  - ・館内トイレの運用は順調である
  - ・1/27昼にNHKの取材が入る予定
- 20:00 要観察者の更衣介助・湿布貼付、歯磨き声かけ  
個別の居室の床で過ごしていた利用者に対し、段ボールベッドを設置
- 22:00 ラウンド、トイレ確認

## 6. 考察

### 【利用者の健康面】

本日はピースウィンズ・ジャパンの医療チームの訪問診療を4人の利用者が受けた。処置の継続指示があり、処置を継続し悪化防止に努めていく。

含嗽薬をいただいた。咽頭不快を訴える利用者が散見されるため、含嗽を勧める案内をしたところ、数名の利用があった。今後も感染防止のため含嗽を勧めていく。

### 【避難所環境】

戸外の簡易トイレが利用できない状況が続いているため、引き続き館内の簡易トイレの利用となっている。定期的に物品の補充や清掃を行い、衛生環境は保持されている。

個室の床で休んでいた利用者がいたため、段ボールベッドを設置し、睡眠環境の適正化を図った。

申請した下着などが届くようになり、利用者が更衣する機会も増えると考えられるため、更衣室を案内し、プライバシーを確保して安心して更衣できるように配慮していく。

### 【その他利用者の生活】

体操の時間になると「待ってました」という声があり、作業を依頼すると多くの利用者が参加していた。家の片付けに戻ることもできず、単調な生活になりつつあるため、希望を募りながら、作業や余暇活動に時間を使うことも検討していく時期にあると考えられる。

7. 参考写真



PWJ 医療班から物資を受け取る



診察室準備風景



診察風景